

英語科学習指導案

日 時

学 校 名

展開学級

授 業 者

1 単元名

Program 6 The Way to School (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2 単元について

(1) 単元観

本単元では、『世界の果ての通学路』という映画を題材としている。この題材を通じて、海外の子どもがどのように学校に通っているのか、なぜ危険な目に遭いながらも学校に通い勉強しているのかを、自分たちと対比させながら考えさせたい。言語材料の観点では、人称代名詞の目的格と、理由を質問する **why** および理由を説明するために活用する **because** を学習する。人称代名詞目的格は **him[her]**を中心に扱い、語の用法を学ぶことを目指す。人称代名詞が文中のどこに置かれているのかを確認しつつ、活用させ技能として定着させたい。理由を聞いたり説明したりする学習は、小学校6年時の Lesson 11 Junior High School Life で取り組んでいる。そこで導入の段階で、頑張りたいことや楽しいな行事など自分たちの話しやすい理由を述べる形をとるなどして、小学校で学習したこととのつながりに気づかせたい。

(2) 指導観

本校の研究主題は「自分の考えを持ち、豊かに表現できる生徒の育成—共に学び合う活動を通して—」である。表現活動の場をペア単位やグループ単位にして考えを伝え合ったり、意見をまとめたりして、相手がわかるように表現することを目指していく。それを踏まえて、英語科研究主題を「英語を使い、豊かに表現する生徒の育成—『書く』、『話す』の技能統合を通して—」と設定した。自分の考えを表現するために、基礎・基本となる知識を運用しながら定着させ、目的・場面・状況を生徒の身近な生活場面に設定した表現活動を行えば表現力は無理なく定着していくと考える。したがって、本単元では教科書本文の音読や読解で深めた理解を基に「自分たちの通学路、学校生活についてインタビューする」という活動を行う。本単元の題材の主人公と自分たちを対比させながら、自分たちのことについて質疑応答のやり取りをさせ、生徒の表現力の育成につなげたい。

3 生徒の実態 割愛

4 単元の目標

(1) **him/her** などの人称代名詞、**why** の疑問文や **Because ~** の意味や働きを理解する。

〔知識〕【知識及び技能】

(2) **him/her** などの人称代名詞、**why** の疑問文や **Because ~** の意味や働きを基に、理由を付け加えて自

- 分の好きな人物等について正確に書いたり話したりする技能を身に付ける。〔技能〕【知識及び技能】
- (3) 海外の通学事情についての映画を話題にした会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。
【思考・判断・表現】
- (4) 自分たちの通学事情や学校生活についてインタビュー形式の対談をすることができる。
【思考・判断・表現】
- (5) 海外の通学事情についての映画を話題にした会話文を読んで、概要や要点を捉えようとする。
【学びに向かう力、人間性等】
- (6) 自分たちの通学事情や学校生活についてインタビュー形式の対談をしようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔知識〕 him/her などの人称代名詞、why の疑問文や Because ～. の意味や働きを理解している。 〔技能〕 him/her などの人称代名詞、why の疑問文や Because ～. の意味や働きを基に、理由を付け加えて自分の好きな人物等について正確に書いたり話したりする技能を身に付けている。	・海外の通学事情についての映画を話題にした会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・自分たちの通学事情や学校生活についてインタビュー形式の対談をすることができる。	・海外の通学事情についての映画を話題にした会話文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。 ・自分たちの通学事情や学校生活についてインタビュー形式の対談をしようとしている。

6 単元の指導計画

時間	ねらい (■)、言語活動等 (・)	知	思	態	備考
1	■単元の概要をつかむ。 ■人称代名詞の目的格 him, her などの意味や働きを理解する。 ・好きな人物やキャラクターについて表現する。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かす			・学習の振り返りは毎時間行わせる。 ・帯活動として、英語の歌や単語練習、ペアで英語のやりとりをさせる場を毎時間設けている。
2	■Why ～? の疑問文、Because …. などの意味や働きを理解する。 ・好きな映画や、その理由について質問したり答えたりする。				
3	■本文の内容について概要を捉える。 ・閉本した状態で本文を聞き、質問に答え概要を理解する。				

	・開本し再度聞き取り、音声と文字を一致させる。				
4	■ 音読を通して、本文の内容の理解を深める。 ・ Parallel Reading, Buzz Reading, Role Reading in Pairs など様々な形式で音読練習を行う。 ・ Japanese-English Translation をできるように音読練習をし、本文の Writing を行う。				
5	■ 本文の内容を通して、自分たちの通学について質問を考える。 ・ Japanese-English Translation の音読を復習として行う。 ・ 自分たちの通学についてどんな質問が作れるか考え、発問練習をする。				
6 (本時)	■ 自分たちの通学事情等について簡単な語句や文を用い、インタビュー活動をする。 ・ 前時に作った質問を活用し、お互いに自分の通学事情についてインタビューし合う。				
7	■ 前時の取組を踏まえ、対談した内容を整理する。		○	○	
8	Program 6 まとめ ■ 文法の復習をする。 ・ リスニングテスト ・ 単語テスト	○	○	○	

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・自分たちの通学事情や学校生活についてインタビュー形式の対談をすることができる。

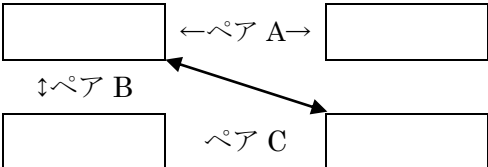
【思考・判断・表現】

- ・自分たちの通学事情や学校生活についてインタビュー形式の対談をしようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開

過程	学習活動 (○) と内容 (・)	指導上の留意点 (・) と評価 (◇)
挨拶 帯活動 8分	○チャイムで単語テストを実施する。 ・2分で20問テストをして、1分で自己採点する。 ○英語で挨拶し、簡単な対話をする。 ○英語の歌を歌う。	・英語を学習する雰囲気を作る。 ・声を出して歌えるよう促す。

導入 10分	○前時のワークシートを確認し、自分たちが作った質問をすらすら言えるように練習する。答えについても考える。	
	Today's Goal: 自分たちの The Way to School について英語でインタビューしよう！ ○インタビュー活動の説明を聞く。 ・ただの質疑応答にならないように、相槌や一言コメントも入れながら行う。 ・何回か行うので、少しずつスムーズに取り組めるようにする。	
Interview① 13分	○インタビューを行う（1ラウンド目）。 ・2分程度、終わったらペアで役割交代して行う（計4分）。 ・3ペア分インタビュー活動を行う。	・以下のペアで行うよう指示する。  ・机間指導をしながらフィードバックをするのに適切な代表生徒を選んでおく。 ・スローラーナーには前時も含めて練習した3問は質問すればよいことを伝える。答える際は、お助けシートを活用するよう促す。
振り返り 6分	○代表生徒の発表を見て、振り返る点を確認する。 ・代表として2ペアがインタビューを実際に行う。	・代表生徒の発表を聞き、その中でフィードバックできることを全体へ伝える。 ・次のラウンドで活用できそうな表現についてはフィードバックの中で共有させる。
Interview② 8分	○インタビューを行う（2ラウンド目）。 ・1ラウンド目より短めの時間で取り組む（3分30秒程度）。 ・2ペア分のインタビュー活動を行う。	・1ラウンド目やフィードバックの中で活用できそうな表現は積極的に使うよう促す。 ・ペアは2列の中で新たに作るよう座席を移動させる（時計回りで2席分）。
まとめ 5分	○最後に活動したペアで、インタビューの振り返りを話す。 ○授業の振り返りをギガタブのクラスルームに書き込む。	◇友達と自分たちの通学事情や学校生活についてインタビュー形式の対談をしている。（次回の授業で復習として再度対談を行い、内容を作文させる） ◇友達と自分たちの通学事情や学校生活についてインタビュー形式の対談を

		しようとしている。(振り返り)
--	--	-----------------

(3) 本時の評価

- ・自分たちの通学事情や学校生活についてインタビュー形式の対談をしている。

【思考・判断・表現】

- ・自分たちの通学事情や学校生活についてインタビュー形式の対談をしようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

※評価のボーダーについて

	B	A
Question	インタビューの中で 3/5 問の質問をすることができる。	インタビューの中でさらに + 2 問自分で考えた質問をすることができる。
Answer	インタビューの中で 3/5 問の質問に答えることができる。	インタビューの中で + α の質問に答えることができる。

Let's Try an Interview!!①

Class () No. () Name ()

~The Goal of This Part~

皆さんは、今回の **Program** で世界の子供たちの通学事情を知りました。皆さんはどうですか？ 自分たちの **"The Way to School"** について、友達に英語でインタビューしよう。

<Step 1>：通学事情についてのインタビューで聞く質問を考えよう！目標5問！！

(どのくらいかかる?)
(どこ通って来る?)
(危険な場所は? なんで危険?)
+1:
+1:

<Step 2> : インタビューの練習をしよう！最初の3つはしっかり言えるようにしよう。

<Step 3> : インタビューに答える準備をしよう！

[illegible]

Let's Try an Interview!!②

Class () No. () Name ()

<Round 1> : グループの中で、お互いにインタビューをしよう！話した内容はメモしよう。

Partner 1	Partner 2	Partner 3

(自分でも使えるような発言は書き留めておこう！)

<Feedback 1> : インタビューを聞いて、次の活動で使おうと思うことを書いておこう！

--

<Round 2> : ペアを変えて、再度インタビューに挑戦しよう！

Partner 4	Partner 5

<Feedback 2> : 最後のペアとインタビュー活動の振り返りをしよう！

--

<お助けシート>

- ・歩道（通り）がせまい。

The street _____ narrow.

- ・見通しが悪い。→よく見えない。

We can't _____ well.

- ・車が多い。→車がよく通り抜ける。

Cars _____ go _____.

- ・電灯が少ない。→暗い。

The street is _____.

- ・人通りが少ない。→人々があまり通り抜けない。

_____ don't often go _____.